

子どもたちの頑張りを紹介します！

良寛書道展 特選 5年 森田 結乃さん



入学説明会

2月12日（木）に、来年度入学予定14名の子どもたちと保護者の皆様をお迎えし、入学説明会を行いました。合わせて、現1年生と新1年生との交流会も行いました。

春から新しく仲間入りするかわいらしい子どもたちと一緒に生活できることを、在校生はもちろん、教職員一同、心待ちにしています。入学式の日が今からとても楽しみです。

【1年生との交流会】 お兄さん、お姉さんとしてしっかりお世話ができました！



3月の主な予定

2日（月）短縮6限
6日（金）5限授業
12日（木）5限授業・町内子ども会
13日（金）5限授業・卒業式練習①
16日（月）5限授業
17日（火）4限授業・卒業式練習②
18日（水）4限授業
19日（木）4限授業
20日（金）春分の日
23日（月）3限授業（終業式）
1～4・6年下校
卒業式準備（5年）

24日（火）卒業証書授与式
登校 在校生 8：35
卒業生 9：00～9：10
下校 在校生 10：50
卒業生 11：10
25日（水）離任式・学年末休業開始
登校 普通登校
下校 1～4・6年 9：30
5年 10：00



令和7年度

おおせき

大関小学校だより№12

令和8年2月17日

6年生を送る会

校長 岸本 政和

卒業式も来月に控え、2月19日（木）は6年生を送る会です。この1年、全校のお手本として活躍してくれた6年生に対して、全校で感謝の気持ちを表し、新しい門出をお祝いします。この日に向けて、5年生が企画・運営を担当し全校で準備を進めています。5年生にとっては来年度に向けての大事な予行練習でもあり、下学年は6年生への気持ちを素直に表す絶好のイベントです。

都合が付くようでしたら、在校生の活躍と6年生への感謝の気持ちをご覧いただけると幸いです。

ふるさとへの愛と誇りを胸に…②

先回の続きです。…中学生になり、球技が苦手で長距離が好きな方だった私は、安易に駅伝部へ入部、想像以上に鍛えられた1年生でした。その冬、父親の持病が悪化し入院先で急逝、あっという間にお通夜・告別式を終え、父親を亡くした実感が湧かぬままに登校したことを覚えています。幸いにも中学では部活動顧問が教科担任だったこともあり、いつも厳しく、時には優しく、少しでも悪さしたのなら徹底的に指導されたことを覚えています。

中学3年には運動が苦手だったにも関わらず、駅伝部主将で保健体育副委員長を務めるまでになっていました。進路決定の時期、幸いにも成績に問題はなかったこと、将来の夢も明確ではなかったこと、父親の死によって工業科進学への縛りもなくなったことなどあり、普通科に進学することができました。これが人生最初の転機であり、初めて教師に興味をもち始めた頃だったのかもしれません。

高校に進み、引き続き部活は陸上部の長距離に所属し、結果はたいしたことありませんでしたが青春？しました。別の進路（他校へ進学・就職）へ進んでいった幼馴染との親交も続き、よく暇を見ては一緒に遊んだものでした。そんな幼馴染とは、今でも親交が続いていることは確かです。

高校3年の進路決定時期、文系国公立進学コースに進んだ私の成績は下の下…行けそうな大学を探す方が大変な中で関わってくれたのが当時の担任でした。「大学の4年間くらい、違う環境でしかできないことを楽しんで経験積んで来い！」と言う担任でした。後で知ったことですが、私の母親を陰で説得までしてくれたそうです。これが人生2回目の転機であり、教師への憧れへと変わっていました。

幸いにも大学に進学することができ、運動の楽しさを学び、体育教師として4年間どころか新潟に骨を埋めることになるとは、誰が想像したでしょう。

故郷への愛と誇りの強い人は、どこでも生きていける

これは、私の人生経験を通した持論です。私が教員としての資質を培ったのは新潟、その恩返しの思いと、これまで私を送り出してくれた大人からの恩送りのつもりでこの仕事を続けてきました。

私には故郷・宮崎への愛着と誇りがあるからこそ、何処でも生きていけると確信しています。

「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり」…これは「新潟県教育振興基本計画」に掲げてあります【今後目指すひとづくりの姿】です。人生は人の数ですが、根底にあるものは「故郷への愛と誇り」…子どもたちにはそう育ってほしいと願っています。

そんな私も、定年後は宮崎へ移住（Uターン？）したいと密かに夢見ています。その頃には母親もいないと思いますが…こんなことを家族にほめかしても、誰も相手にしてくれません…(笑)

2か月に渡り、拙い話にお付き合いいただきありがとうございました。

令和7年度 大関小学校 総合的な学習の時間・生活科について

保護者・地域の皆様へ

来年度も、ボランティア等のご協力をよろしくお願いします。

1年生 「あさがおニュース ～聞いて！あさがおの大変身！～」
自分で種をまいて育てることにより、あさがおの変化や成長の様子に関心をもち、愛着をもって世話を続けることができました。あさがおも、自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに、世話を続けた自分の頑張りを実感することができました。

①「種をまいたよ！」



種まき後、毎日水やりを頑張りました。かわいい芽が顔を出して大喜び！本葉が出たことを「葉っぱの進化」と名付けていました。

②「花が咲いたよ！」



日ごとに变身していくあさがおに興味津々。暑い夏の始まりとともに大輪の花が咲きました。叩き染めや色水遊びも楽しみました。

③「リースを作ったよ！」



花が枯れた後もあさがおは变身を続け、やがて、たくさんの種がとれました。種をとった後のつるで、すてきなリースを作りました。

④「劇でみんなに伝えたよ！」



あさがおの成長の様子や世話の様子、そのときのあさがおの気持ちや自分たちの思いについて、文化祭で堂々と発表しました。

2年生 「ぐんぐん育て！ぼくとわたしとみんなの野菜」

夏野菜と秋野菜、あわせて9種類の野菜を育てました。野菜の生長の様子を観察しながら、育てることの楽しさや、食べ物への関心を高めることができました。文化祭では、これまでの体験や学んだことをまとめて発表しました。

①「ぐんぐん育てね！」



ボランティアの方に教わりながら、野菜作りを進めました。生長している様子を観察し、絵にかいたり写真に撮ったりしました。

②「たくさん収穫できたよ！」



カラスに狙われることもありましたが、その対策も工夫し、たくさんの野菜を収穫することができました。

③「野菜っておいしいな！」



こぶき芋、ふかし芋、ふろふき大根を食べました。自分で育てた野菜でもあるので、いつもよりおいしく感じられました。

④「文化祭で発表！」



たくさんの学びがあった2年生の畑について、文化祭で紹介しました。2年生らしく、元気いっぱい発表することができました。

3年生 「燕市ウォッチング！」

1年間を通して、燕市の産業や伝統、文化を調べました。燕市の産業や伝統、文化を継承している人々の思いに触れ、故郷燕市への誇りと愛着を育みました。学んだことを文化祭で発表し、多くの人たちにクイズで発信しました。

①「燕市の洋食器について」



産業史料館や磨き屋一番館を見学し、燕市の産業である洋食器について、その歴史や技術を調べました。

②「世界に誇る 燕の伝統技術」



燕市の伝統技術「鋳起銅器」について調べました。玉川堂では、職人さんの優れた技術の凄さがわかりました。

③「故郷の偉人 長善館」



長善館がどんな場所なのかを調べに長善館史料館に出かけました。当時の授業や偉大な卒業生に驚きました。

④「良寛様の魅力って？」



分水良寛史料館では、良寛様の人柄や魅力をたくさん発見しました。歌や習字も得意なことを知りました。

4年生 「やってみようSDGs 見つめてみよう地球の未来」

本当のSDGsって、きっと自分で行動することから始まるかもしれません。そして、自分たちにできることを考え、実行する力はこれからの未来を切り開くカギになる。そんな力をつけてきた1年間の学習でした。

①「レッツトライSDGs」



「ペットボトルキャップをワクチンに代えよう！」「節電をしよう！」と全校に協力を呼びかけました。

②「楽しもうSDGs」



子どもの森館長の神保一江先生から、廃材になりそうなものを活用したものづくりを教してもらい、作品作りを楽しみました。

③「味わおうSDGs」



東部給食センターの丸山栄養教諭から食品ロスを減らす大切さを教えてもらいました。この日の給食はSDGsメニューでした。

④「実現しようSDGs」



3年生の時の担任の先生から外国に支援物資を送った話を聞きました。「今度は自分たちがやってみよう」という思いで実行しました。

5年生 「みんなのふだんのくらしをしあわせに！

～考えよう！「今」「ここ」で、「私たち」にできること～
すべての人が福祉の対象であることを学び、福祉に携わる方々をお招きし、様々な体験をしました。その体験をもとに、幸せな生活のために自分たちなりに何ができるかを考え、実践を積み重ねました。

①「福祉について学ぼう！」



社会福祉協議会や介護福祉士会の方々をお招きし、福祉の定義、福祉に関係する仕事、福祉の課題などを学びました。

②「福祉に関する体験をしよう！」



車椅子やアイマスク、手話などの体験を通して、誰もが幸せに生活するために大切なことは何かを考えました。

③「みんなのしあわせのために！」



お世話になった方や出会った方を幸せにするためにできることを考えて、実践しました。

④「大関小をしあわせに！」



最高学年のバトンを引き継ぎ、大関小を幸せな学校にするために、何ができるかを考えました。

6年生 「働くとは？～これからの未来の自分へ～

最高学年として、どのようなことをすればよいのだろうか。また将来、生きていく上で、どんな思いをもって進んでいくのか。実際に様々な職種の方々と交流したり、職場に訪問したりするなどして、「働く」ことや自己の生き方について文章や劇で表現しました。

①「最高学年としてできること」



4月に最高学年になりました。全校のリーダーとして、大関小学校のために何ができるかを考え、行動しました。

②「働いている人の声を聞こう」



様々な職種の方々をお招きしたり、職場を訪問してインタビューしたりして、「働くとは？」について考えを深めました。

③「仕事を体験」



キャリア教育として、実際に仕事を体験し、「働く」ことに対する興味関心を深めました。

④「自分の思いを伝えよう」



「働くとは？」をテーマに、学んだことや聞いたことを生かして、自分たちの思いを伝えました。